

町が開設する避難所一覧

避難所名	住所	電話番号
富田小学校	白浜町十九洲545番地	45-0073
椿小学校	白浜町椿316番地	46-0352
椿園	白浜町椿1059番地01	46-0611
市江川区会館	白浜町白濱1446番地	—

初期避難場所(高台等)一覧

No.	名称	海拔(m)	緊急避難先レベル
85	中地区2(中地区津波避難タワー)	6.5	☆☆
87	中地区3(中地区津波避難ビル)	7.2	☆☆
99	富田地区救命艇	1.5	☆(救命艇)
100	富田地区2	29.7	☆☆☆
101	富田地区3(草堂寺横)	13.7	☆☆☆
102	富田地区4	15.8	☆☆☆
103	富田地区5	15.6	☆☆☆
104	富田地区6	24.3	☆☆☆
105	富田地区7	13.9	☆☆☆
106	富田地区8	23.6	☆☆☆
107	富田地区9	48.3	☆☆☆
108	富田地区10(飛鳥神社敷地)	17.4	☆☆☆
109	富田地区11	17.1	☆☆☆
170	富田地区12(復興老人ホームケアハウス敷地)	4.2	☆(津波避難ビル)
118	椿地区1(稲荷神社敷地)	13.6	☆☆☆
119	椿地区2	16.0	☆☆☆
120	椿地区3	29.6	☆☆☆
121	椿地区4	15.2	☆☆☆
122	椿地区5	18.4	☆☆☆
123	椿地区6	11.8	☆☆☆
124	椿地区7	14.3	☆☆☆
125	椿地区8(玉椿センターマンション前)	16.4	☆☆☆
126	椿地区9(プレジデント椿駐車場)	26.1	☆☆☆
127	椿地区10	27.6	☆☆☆
128	椿地区11	27.3	☆☆☆
130	市江地区1(市江崎灯台への道)	12.9	☆☆☆
131	市江地区2(市江地蔵尊敷地)	27.9	☆☆☆
132	市江地区3(目野地区裏山)	16.0	☆☆☆
133	笠南地区1(裏山)	13.3	☆☆☆
134	笠南地区2(太平洋沿岸自転車道)	14.6	☆☆☆
136	志原地区2(裏山)	11.3	☆☆☆
137	志原地区3(春日神社敷地)	15.8	☆☆☆
139	志原地区5(ハイロード入り口)	18.0	☆☆☆

- ### 津波避難の3原則
- 想定にとらわれるな!**
●このハザードマップに掲載している震度分布や津波の浸水域は、あくまでひとつの「想定」です。実際の地震や津波が想定通りになるとは限りません。
 - 率先避難者たれ!**
●強い地震や、弱くて長い地震があった後は、津波の危険性があります。津波警報などの情報待たず避難しましょう。
●家族が離れたところにいる場合、迎えに行くとすると避難が遅れてしまいます。津波から逃れた後、再会することとして、自分ひとりで避難しましょう。率先して避難することで、周囲の人の避難を促すことにも繋がります。
 - 最善をつくせ!**
●実際にどこまで浸水するかといったことは、事前にはわかりません。その時に考えられる最善を尽くして、あきらめず避難しましょう。
- ※参考:群馬大学大学院 片田敬孝 教授著「人が死なない防災(集英社新書)」

津波到達時間について

この表示の付近における高さ1m、3m、5m、10mの津波の到達時間を示しています。

- ### 津波対策10か条
- 家族会議を開こう**
避難する場所を事前に家族で話し合っておきましょう。
 - 小さな揺れでも油断禁物!**
小さな揺れでも津波の危険性があります。
 - 引き潮がなくても注意!**
津波の前に引き潮が必ずあるとは限りません。
 - 津潮のときは要注意**
水位が高くなっているため、被害が大きくなります。
 - 津波のスピードは速い!**
「注意報」や「警報」が出る前に来る津波もあります。ただちに避難しましょう。
 - 高い場所へ避難する**
海岸から「より速く」ではなく、「より高い」場所へ避難しましょう。
 - 注意報、警報が出たら**
家族や近所に知らせ、速いで高台に避難しましょう。
 - 正しい情報を聞く**
ラジオ・防災無線などで、正しい情報を聞きましょう。
 - 津波はくり返し来ます!**
津波はくり返し来ます。波が落ち着くまでは避難しておきましょう。
 - 海岸・河川に近づかない**
「注意報」や「警報」が解除されるまで、海岸や河川には近づかない。

津波ハザードマップの想定地震

南海トラフの巨大地震 マグニチュード9.1
科学的知見に基づき推定した最大クラスの地震です。発生頻度は極めて低いとされています。

東海・東南海・南海3連動地震 マグニチュード8.7
約90年から150年周期という高い頻度で繰り返して発生している地震です。

この津波ハザードマップは、和歌山県が平成25年に公表した「南海トラフの巨大地震」及び「東海・東南海・南海3連動地震」の津波浸水想定を基に作成したものです。

津波からの避難場所は、付近の高台です。地震の揺れを感じたときは、防災行政無線のサイレンや放送を聞いてからではなく、揺れがおさまったら直ちに避難行動を開始してください。東日本大震災の教訓に学び、想定にとらわれることなく、可能な限り高い所へ避難することが肝要です。いざというときのために、毎日の避難訓練や避難路の確認が有効です。

マップには、町が把握している初期避難場所(高台等)と津波避難ビル、津波避難タワーを表示しています。

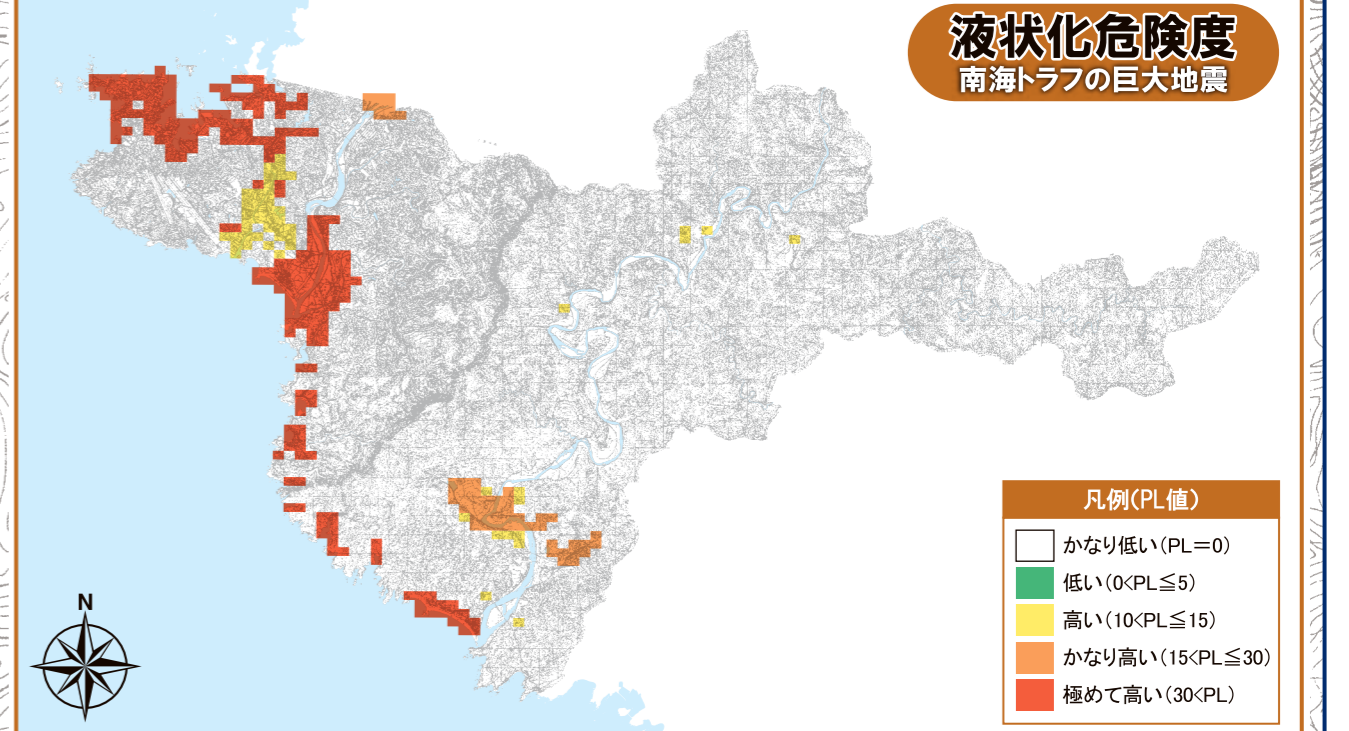
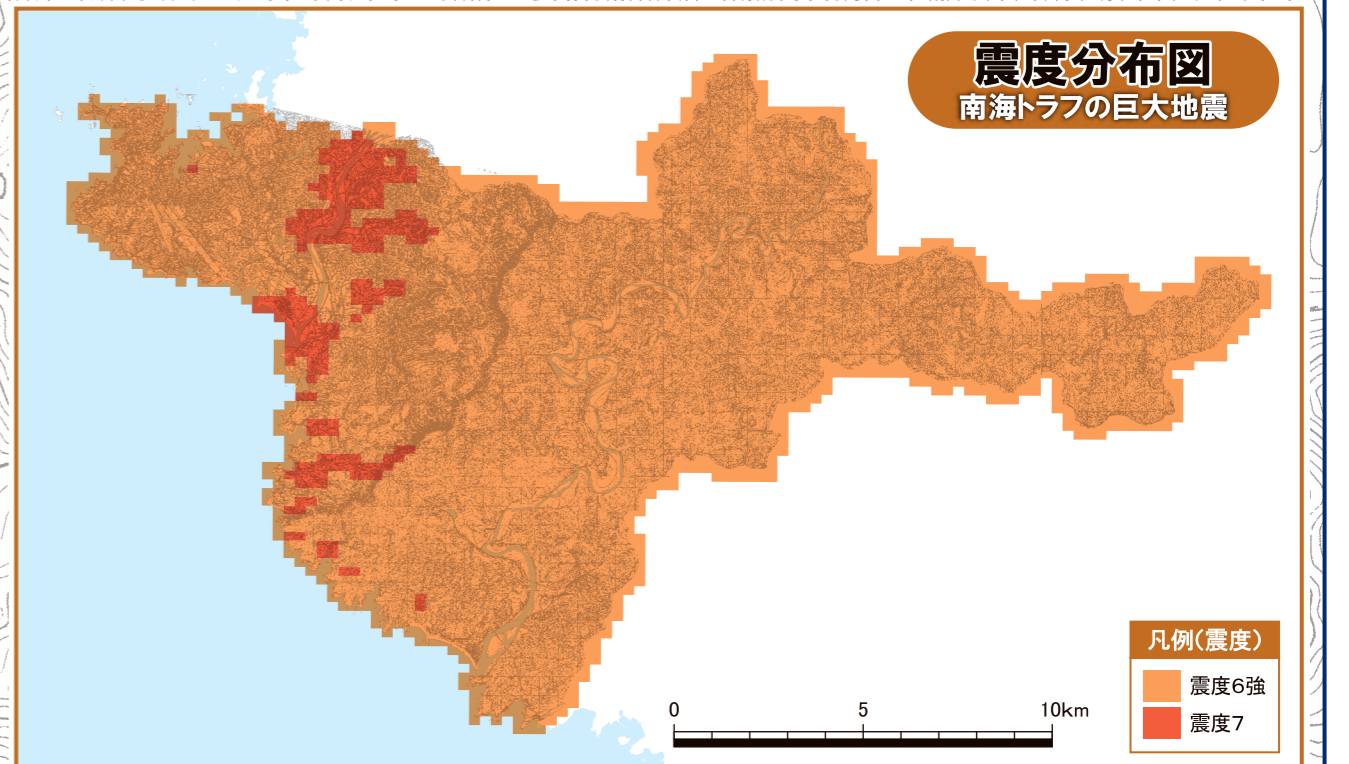
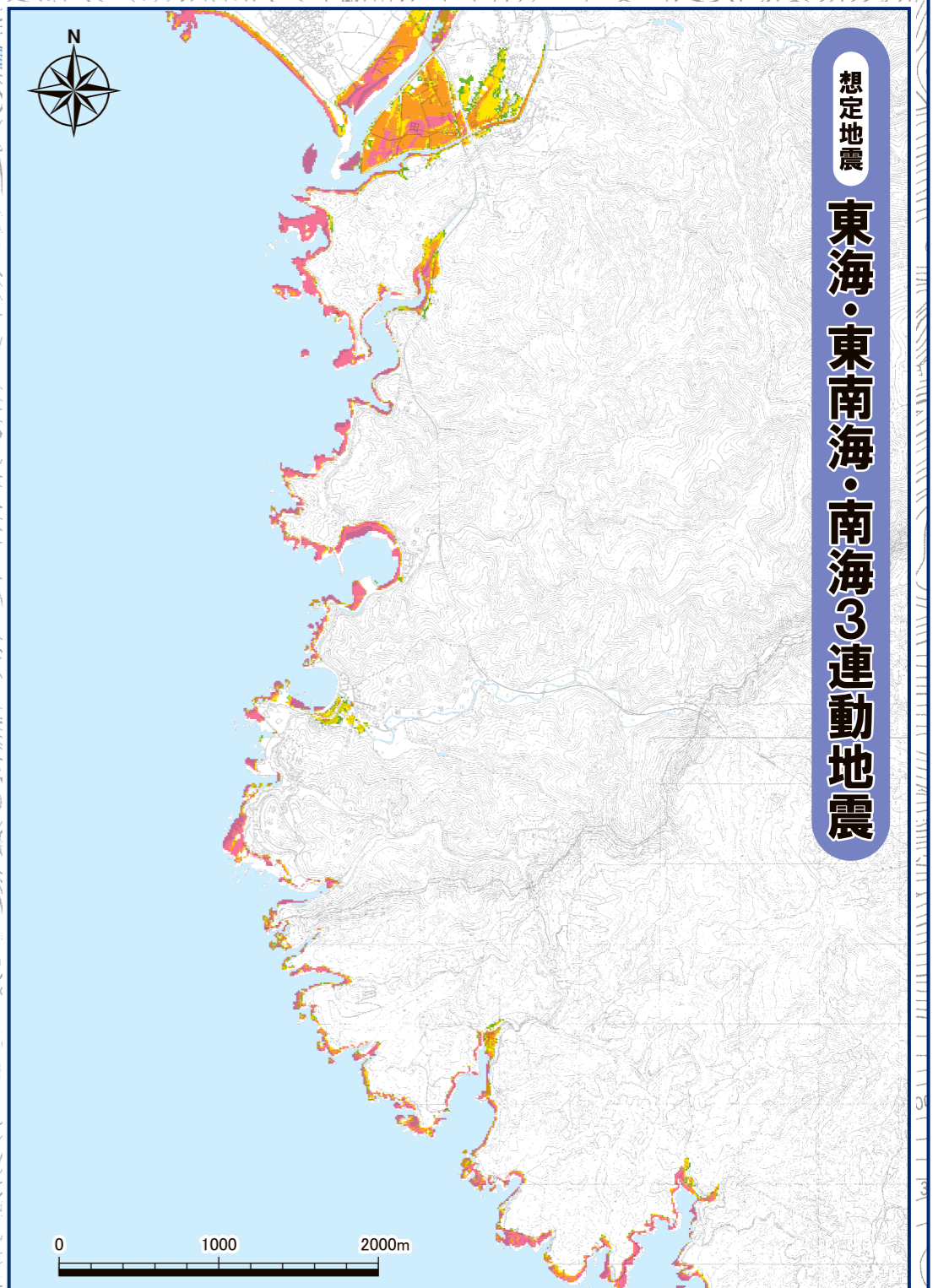
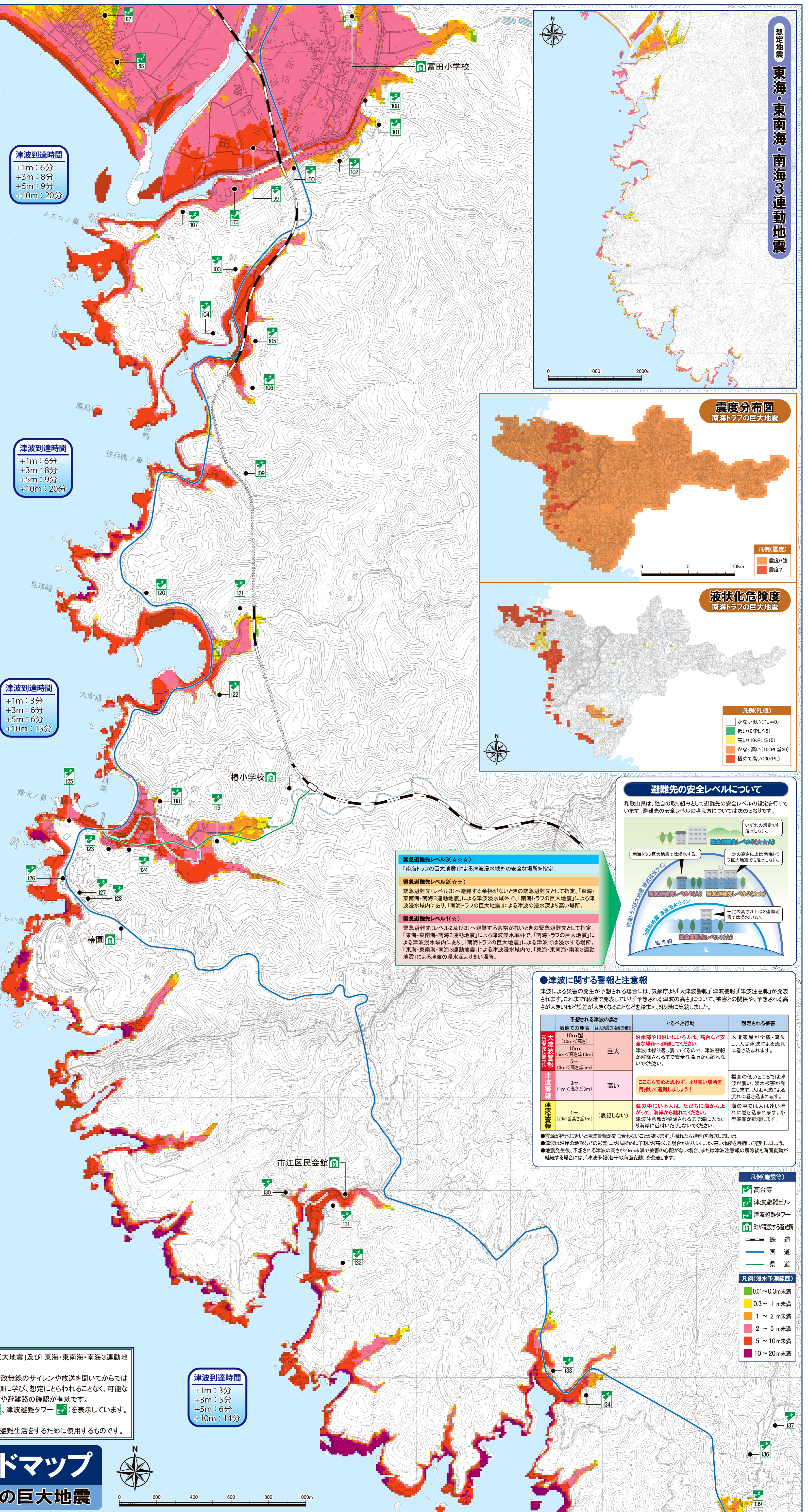
この他にも、自宅の裏山など近くの安全な高台への避難をお願いします。

なお、町が開設する避難所()は、地震・津波の直接的危険性が去った後、避難生活をするために使用するものです。

白浜町 津波ハザードマップ

椿地域 想定地震 南海トラフの巨大地震

震度分布図及び液状化危険度予測図は、平成26年に和歌山県が作成した調査結果を基に作成したものです。



緊急避難レベル(☆☆☆)

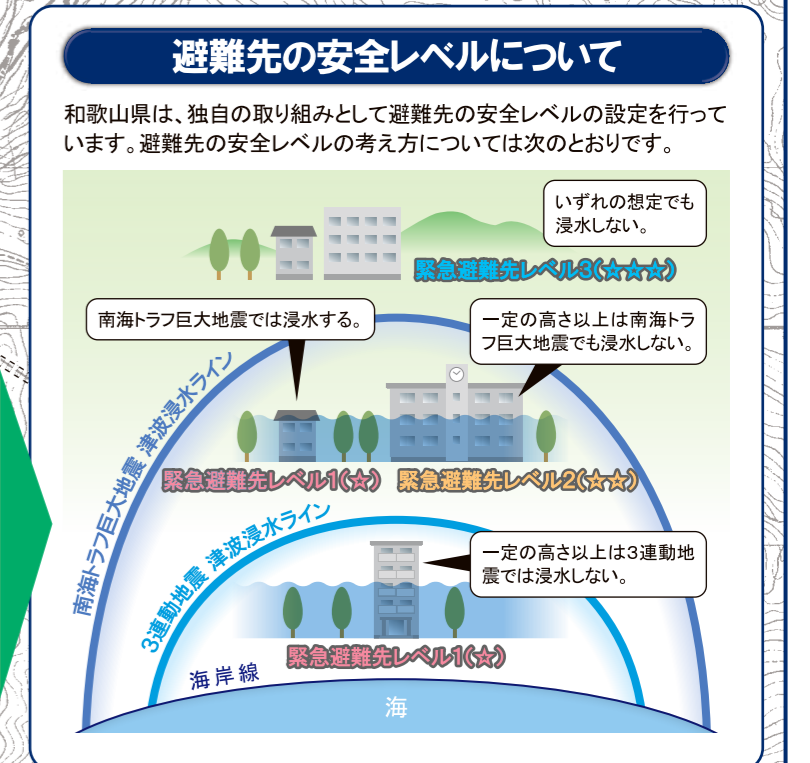
「南海トラフの巨大地震」による津波浸水域外の安全な場所を指定。

緊急避難レベル(☆☆)

緊急避難先(レベル3)へ避難する余裕がないときの緊急避難先として指定。「東海・東南海・南海3連動地震」による津波浸水域外で、「南海トラフの巨大地震」による津波浸水域内にあり、「南海トラフの巨大地震」による津波の浸水深より高い場所。

緊急避難レベル(☆☆)

緊急避難先(レベル2及び3)へ避難する余裕がないときの緊急避難先として指定。「東海・東南海・南海3連動地震」による津波浸水域外で、「南海トラフの巨大地震」による津波浸水域内にあり、「南海トラフの巨大地震」による津波では浸水する場所。「東海・東南海・南海3連動地震」による津波の浸水深より高い場所。



津波に関する警報と注意報

津波による災害の発生が予想される場合には、気象庁より「大津波警報」「津波警報」「津波注意報」が発表されます。これまで段階で発表していた「予想される津波の高さ」について、被害との関係や、予想される高さの大きいほど被害が大きくなることなどを踏まえ、5段階に集約しました。

予想される津波の高さ	とるべき行動	想定される被害
大津波警報 10m超(10m未満)	沿岸部や川沿いにいる人は、高台など安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。
津波警報 3m(1m未満<3m)	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう!	標高の低いところでは津波が強い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。
津波注意報 1m(20cm未満<1m)	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れましょう。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしないでください。	海の中では人は強い流れに巻き込まれます。小型船舶が転覆します。

●地震が陸地に近くと津波警報が間に合わないことがあります。「揺れたら避難」を徹底しましょう。
●津波は沿岸の地形などの影響により局所的に予想より高くなる場合があります。より高い場所を目指して避難しましょう。
●地震発生後、予想される津波の高さが20cm未満で被害の心配がない場合、または津波注意報の解除後も海面変動が継続する場合には、「津波予報(若干の海面変動)」を発表します。

- ### 凡例(施設等)
- 高台等
 - 津波避難ビル
 - 津波避難タワー
 - 町が開設する避難所
 - 鉄道
 - 国道
 - 県道
- ### 凡例(浸水予測範囲)
- 0.01~0.3m未満
 - 0.3~1m未満
 - 1~2m未満
 - 2~5m未満
 - 5~10m未満
 - 10~20m未満

